

2022 年 8 月 1 日

関係各位

株式会社パテント・リザルト

【電気機器】他社牽制力ランキング 2021

トップ 3 はパナソニック、三菱電機、東芝

弊社はこのほど「電気機器業界」の特許を対象に、2021 年の特許審査過程において他社特許への拒絶理由として引用された特許件数を企業別※に集計した「電気機器業界他社牽制力ランキング 2021」をまとめました。

この集計により、直近の技術開発において競合他社が権利化する上で、阻害要因となる先行技術を多数保有している先進的な企業が明らかになります。

集計の結果、2021 年に最も引用された企業は、1 位 **パナソニックホールディングス**、2 位 **三菱電機**、3 位 **東芝**となりました。

【電気機器業界 他社牽制力ランキング 2021 上位 10 社】

順位	企業名	引用された特許数
1位	パナソニックホールディングス	11,861
2位	三菱電機	6,136
3位	東芝	6,035
4位	日立製作所	5,377
5位	ソニーグループ	4,501
6位	シャープ	4,282
7位	富士通	3,328
8位	NEC	3,020
9位	三洋電機	2,175
10位	京セラ	1,789

※ 当ランキングは、企業グループを考慮した名寄せ処理を用いて算出しています。

【ランキングの集計対象について】

日本特許庁に特許出願され、2021 年 12 月までに公開されたすべての特許のうち、2021 年 1 月から 12 月末までの期間に拒絶理由（拒絶理由通知または拒絶査定）として引用された特許を抽出。

本ランキングでは、権利移転を反映した集計を行っています。2022 年 4 月 15 日の時点で権利を保有している企業の名義でランキングしているため、出願時と企業名が異なる可能性があります。

なお業種は、総務省の日本標準産業分類を参考に分類しています。

1位 **パナソニックホールディングス**の最も引用された特許は「非極性面又は半極性面を主面とし、偏光光を発光する活性層を含む窒化物系半導体積層構造を備えた半導体発光素子」に関する技術で、ディスコと日亜化学工業の計19件の審査過程で引用されています。このほかには「方向性が無く、Q値の大きな積層インダクタ」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、村田製作所の計7件の拒絶理由として引用されています。

2021年に、パナソニックホールディングスの特許による影響を受けた件数が最も多い企業は三菱電機（487件）で、次いでキヤノン（201件）となっています。

2位 **三菱電機**の最も引用された特許は「視聴者の快適性および退屈させない工夫をした車載情報表示制御装置」に関する技術で、日本精機などの計13件の審査過程で引用されています。このほかには「自律的な自動走行による自動駐車を円滑に行える自動駐車システム」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、日産自動車やデンソーなどの計7件の拒絶理由として引用されています。

2021年に、三菱電機の特許による影響を受けた件数が最も多い企業はパナソニックホールディングス（320件）で、次いでデンソー（204件）です。

3位 **東芝**の最も引用された特許は「照明機器、表示装置などに実装した際の生産性が高い半導体発光素子」に関する技術で、ディスコの計12件の審査過程において拒絶理由として引用されています。

2021年に、東芝の特許による影響を受けた件数が最も多い企業は、三菱電機（192件）で、次いでパナソニックホールディングス（172件）となっています。

4位 **日立製作所**は「ドライバに合致した格付けや帳票を自動作成することで安全指導員の負担軽減を図る安全運転診断装置」（損害保険ジャパン日本興亜との共願）が、
5位 **ソニーグループ**は「複数種類のサブタイトル情報を並行して伝送する送信装置」が、それぞれ最も引用された特許として挙げられます。

* * *

また弊社では、ランキングデータを下記の通り販売しています。

【電気機器業界 他社牽制カランキング 2021 データ】

▶納品物：以下のデータを収納した CD-ROM

- ・ランキング トップ 50 社：本業界の被引用件数上位 50 社のランキング
- ・被引用件数 トップ 100 件：本業界の被引用件数上位 100 特許、及び引用先の特許との対応

▶価格：50,000 円（税抜）

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部営業グループ

TEL : 03-5802-6580 FAX : 03-5802-8271 HP : <https://www.patentresult.co.jp/>